

基礎教育保障学会 第11回研究大会

プログラム

2026年8月29日(土)～8月30日(日)

南山大学名古屋キャンパス

会 場 南山大学名古屋キャンパス Q 棟

(名古屋市昭和区山里町18)



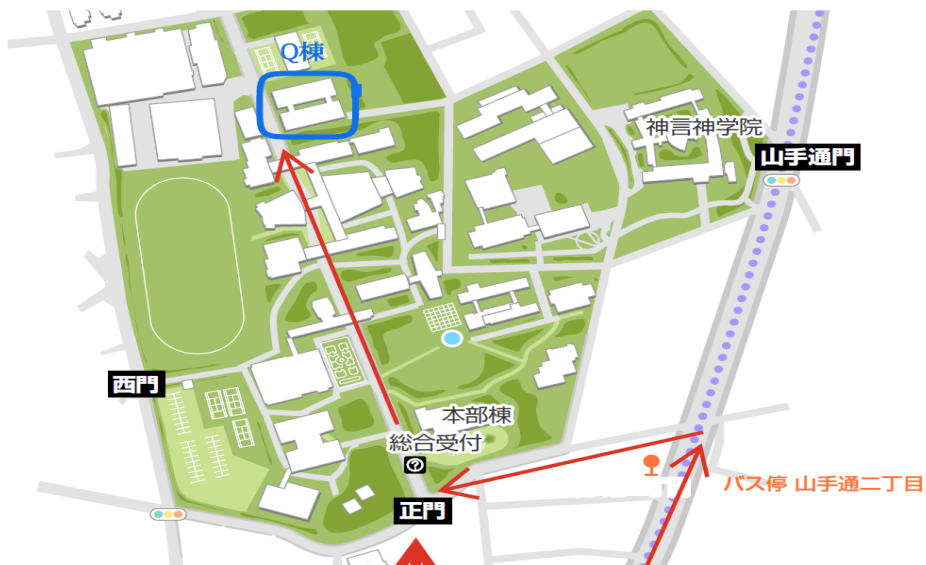
【交通アクセス】

その1. JR 名古屋駅→地下鉄東山線「藤が丘」行き乗車→「本山」下車、名城線乗り換え右回り乗車→

「八事日赤」駅下車→①番出口より大学正門まで640メートル(徒歩約8分)

その2. JR 名古屋駅→地下鉄桜通線「丸の内」下車、地下鉄鶴舞線乗り換え「赤池」方面乗車「いりなか」駅1番出口より大学正門まで1200メートル(徒歩約15分)

【正門から Q 棟への行き方】 正門からの経路が最もわかりやすいです。約 400 メートル。



Q 棟内会場図 *大会は Q 棟で開催します。

大会で使用するのは1階・2階エントランス・3階・4階のみです。



受付場所:2 階のエントランス

全体会会場: 1 階・101

自由研究・実践報告発表: 4 階・415・416・417・418

参加者の休憩室:3階・306 親子室(申請者のみ):3階・307

本部・役員控室:3階・301

当日受付案内

受付設置場所：Q棟2階エントランス

受付開始時刻：両日とも、午前 9:00～

昼食その他の諸注意

大学周辺には、コンビニエンスストアなどがありません。

昼食は各自でご用意ください。

飲料の自動販売機はQ棟1階にあります。

敷地内は禁煙です。また、会場でのコピーはできません。

大会期間中の連絡先

緊急連絡も下記メールアドレスへご連絡ください

大会本部・役員控室・前日打ち合わせ会場はQ棟3階301です。

ただし、この部屋は、プログラム開始後は施錠します。

第11回研究大会 現地実行委員会メールアドレス：

Jasbelconference2026@gmail.com

Wi-Fi の案内

- ・学内では、大学等の機関で相互利用できる無線 LAN ローミングサービス「eduroam」があります。「eduroam」を利用できない方は、各自でモバイルルーター、テザリング等をご用意ください。

【 研究大会スケジュール 】

8 月 29 日(土)

9:30～12:30

自由研究発表・実践報告 (Q 棟4階・415・416・417・418)

※「自由研究・実践報告」のオンライン配信なし

13:30～16:30

会場校企画 シンポジウム(Q 棟1階・101)

「求められる日本語教師・養成される日本語教師」

※ オンライン配信あり

終了後、懇親会参加者は、JR 名古屋駅付近懇親会会場に移動

18:00～19:30

懇親会

会場 「伊太利食房 ZENZERO ゼンゼロ名駅店」

名古屋市中村区名駅 4-10-22「琥珀ビル」2階

場所 JR 名古屋駅から 240 メートル徒歩3分 ミッドランドスクエア近く



*懇親会会費5,000円

*2時間飲み放題付き

*大会参加申し込みの際に、参加費と併せてお振り込みください。

*事前申し込み厳守。原則として払い戻しはしません。

8月30日(日)

9:30～10:45

総会 (Q棟1階・101)

11:00～12:00

文部科学省ガイドライン報告

「夜間中学における日本語指導ガイドライン」について

(Q棟1階・101) ※ オンライン配信あり

13:00～15:30

特定課題研究シンポジウム

「はざまー在日外国人の教育を、いま(こそ)考える」

(Q棟1階・101) ※ オンライン配信あり

最新情報は、学会ホームページの「大会情報」をご覧ください。

基礎教育保障学会ホームページ:<http://jasbel.org>

大会情報ページ:<http://jasbel.org/taikai/>

研究大会参加費・懇親会費振り込み案内

大会用振り込み口座へ

8 月 15 日までに振り込んでください

(期日厳守)

会員:1,000 円 非会員:2,000 円 大学生・大学院生:500 円

オンライン参加者(Q 棟・101会場の企画のみ)一律 1,000 円

識字教室・日本語教室の学習者および夜間中学の生徒は対面参加・オンライン参加ともに無料です。当日参加も無料です。

懇親会費 一律 5,000 円

※1. 8 月 15 日までに振り込みがない場合は、会員・非会員ともに、
当日 2,000 円、学生院生は 500 円をいただきます。

※2. 参加費・懇親会費は一括で、まとめてお支払いください。

※3. 参加費・懇親会費は、原則として払い戻しはしません。

8月15日までに振り込んだ場合の参加費		大会当日の参加費
会 員	1,000 円	2,000 円
非 会 員	2,000 円	2,000 円
大学生・大学院生	5,00 円	5,00 円
オンライン参加者	一律 1,000 円	
識字教室・日本語教室の学習者および夜間中学の生徒		無 料
懇親会 参加費		一律 5,000 円

大会用振込口座：

【銀行名】三井住友銀行

【支店名】福岡支店

【口座名】基礎教育保障学会

【口座番号】 普通 8289212

その他

1. オンライン参加の際の注意事項

- ① オンライン配信は、Q 棟・101教室のプログラムのみです。「自由研究発表・実践報告」は配信しません。
- ② 大会へのオンライン参加申込者には、Zoom の参加 URL をメール等でお知らせします。
- ③ 入室後、Zoom の表示名を「名前(所属)」に変更してください。発言時以外は、マイクをオフにしてください。カメラのオン・オフは任意です。
- ④ 録画、録音等は禁止です。
- ⑤ オンライン参加者の当日の質疑応答は、受け付けません。質問は、後日、発表者へ直接ご連絡いただくようお願いします。

2. 「合理的配慮」および「親子室」利用が必要な場合

- ① 学会ホームページに掲載している「一般参加者用合理的配慮申請書」に必要事項を記入してください。

② 7月1日～7月20日までに、申請書を下記メールアドレスまでメールで提出してください。

自由研究実践報告者は7月15日までに提出してください。

③ 件名に「基礎教育保障学会合理的配慮申請」とご記入の上、下記メールアドレスまで申請書を添付送信してください。

申請書提出先アドレス:tueda@nanzan-u.ac.jp

・11回大会では、保護者同伴による「親子室」のご利用が可能です。ただし、お子さんだけのご利用はできません。必ず保護者同伴でご利用ください。

・申請いただいたすべての合理的配慮の実施を保障するものではありません。いただいた申請に関する具体的な対応については、後日対応の内容をご連絡します。

8 月 29 日 (土)

自由研究発表・実践報告

9:30~12:30

第 1 室 Q 棟・415 教室

第 2 室 Q 棟・416 教室

第 3 室 Q 棟・417 教室

注意!

* 「自由研究発表・実践報告」のオンライン配信はありません。

* 共同発表の場合、○印が登壇者です。

<第Ⅰ室> (Q棟・415教室) 司会:工藤 慶一

☆実践報告

9:30～9:55 山口県内の自主夜間中学校の活動状況—宇部市を中心に—

／ ○中村 文健(山口自主夜間中学校 宇部校代表)・上村 英男(福岡工業大学短期大学部)

☆自由研究発表

10:00～10:25 地域日本語活動における日本語学習者の語りとその場づくりの検討—多感覚楽修に注目して—

／ 横山 りえこ(早稲田大学大学院)

☆自由研究発表

10:30～10:55 基礎教育保障の視点から見たアメリカの教育施策の変遷

／ 上村 英男(福岡工業大学短期大学部)

☆自由研究発表

11:00～11:25 デジタル社会における成人の識字教育活動について—英国社会における活動事例から—

／ 長岡 智寿子(田園調布学園大学)

☆全体討議

11:25～12:30

<第2室> (Q棟・416教室) 司会：遠藤 知恵子

☆自由研究発表

9:30～9:55 現代の識字運動における「解放の学力」とは

／ 菅原 智恵美(大阪公立大学人権問題研究センター)

☆自由研究発表

10:00～10:25 多文化を背景とする学習の場における人々の「学び合い」の過程—自主

夜間中学「はじめの一步教室」のエスノグラフィーから—

／ 新井 真帆(慶應義塾大学大学院)

☆自由研究発表

10:30～10:55 成人基礎教育保障システムの展望—大阪を事例として—

／ 岩槻 知也、上杉 孝實、小原 武次郎、菅原 智恵美、棚田 洋平、○森 実(識字・成人基

礎教育研究会、大阪教育大学名誉教授)

☆自由研究発表

11:00～11:25 21世紀の夜間中学にみる「人権としての学習権保障」の意義と限界

／ 浅野 慎一(摂南大学)

☆全体討議

11:25～12:30

<第3室> (Q棟・417教室) 司会:宮崎 里司

☆自由研究発表

9:30~9:55 就学猶予・免除制度の歴史的帰結と成人期の学習機会保障—旧コロニー立地自治体の学歴分布に着目して—

／ 碓井 健寛(創価大学)

☆自由研究発表

10:00~10:25 夜間中学における教育機会の保障とは?—学習者の生活ニーズに基づく学習を焦点に—

／ 福島 賢二(埼玉大学)

☆自由研究発表(共同)

10:30~11:20 日本の識字・基礎教育の現場はコロナ禍にどう対峙したのか?—「新型コロナウイルス感染症の影響に関する識字・基礎教育実態調査」の結果より—

／ 江口 怜(摂南大学)／金 侖貞(東京都立大学)／○添田 祥史(福岡大学)／新矢 麻紀子(大阪産業大学)／○棚田 洋平(一般社団法人 部落解放・人権研究所)／肥後 耕生(豊岡短期大学)／横関 理恵(旭川市立大学)

☆全体討議

11:20~12:30

8 月 29 日 (土)

会場校企画シンポジウム

13:30~16:30

Q 棟・101 (オンライン配信あり)

【テーマ】 求められる日本語教師・養成される日本語教師

【司 会 (コーディネーター)】 上田 崇仁 (南山大学)

【パネリスト】

1. 佐村 明生 (名古屋市立なごやか中学校校長)
2. お名前非公表 (名古屋市内小学校)
3. 川口 直巳 (愛知教育大学)
4. 上田 崇仁 (南山大学)

教材・教具の紹介 (デモンストレーション)

日本語学習教材「Fingerboard」開発者 都築 鉄平

(Semiosis 株式会社代表取締役) ほかに 1 名

日本語教育の必要性がますます高まる中、日本語指導者の養成にかかわる現場と受け入れる現場の双方が抱える課題を共有しながら、相互にできることを一緒に考えていくシンポジウムを予定。

8 月 30 日(日)

11:00~12:00

文部科学省ガイドライン報告

Q 棟・101 (オンライン配信あり)

【テーマ】『夜間中学における日本語指導ガイドライン』について

【司会(コーディネーター)】 岡田 敏之(本学会会長)

【発表構成】

1. ガイドラインの概要 岡田 敏之(本学会会長)

2. アンケート調査結果

金子 篤志(イノベーション・デザイン&テクノロジーズ株式会社)

3. 委員によるコメント

江口 怜 (摂南大学)

笹山 悦子 (愛知夜間中学を語る会・夜間定時制高校)

新矢 麻紀子(大阪産業大学)

野山 広 (国立国語研究所)

8 月 30 日(日)

特定課題研究シンポジウム

13:00～15:30

Q 棟・101 (オンライン配信あり)

【テーマ】はざまー在日外国人の教育を、いま(こそ)考える

【登壇者】

朴 基浩(映像作家)

三木 幸美(公益財団法人とよなか国際交流協会事業主任)

コーディネーター:榎井 縁(藍野大学)

コメンテーター:瀬戸 麗(富山県立大学)